
麻薬-悩

エイノジ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

麻薬 - 悩

【Nコード】

N7915Y

【作者名】

エイノジ

【あらすじ】

中途現実fxt

麻薬ネタ

（前書き）

徳井くんのイメージが下がったらすいません。

ごめんなさい

良いこととかわるいこととか考えるひまもなく

僕はおぼれておぼれて

今では急に頭がフワフワしたり

あつくなったりします

いろんなことを真剣に考えられなくて

そんな自分もいやでキライで

死ぬことは怖いけれどリセットして

はじめからやり直したい

麻薬 - 悩

「ハア……」

溜め息の数が増えてきた。

それも無意識の、、、

「どないしたん」

全く心配していない様なトーンで言われる。

「ストレス？しんどいん？」

寧ろ、楽しむような口調は更に苛々を募らせる。

「ちやうよ」

「じゃあ何？」

「いや…え、と…」

間髪入れずに話し掛けてくる。

そんな徳井も珍しいとか思いながら

「ストレス解消やったらイイもんあるで」

「……」

「家来たら教えたるわ」

「…うん」

ホイホイついて行った自分はもうオカシかったのかもしれない。

徳井の家は少し甘い匂いがして女を連想させられた。

「福田」

振り返ると徳井の手中には先の鋭い注射器があった。

「と、く…い？」

注射器の中には透明な液体が一杯入っている。

「何其れ」

思い切って出した声が若干掠れていて笑われる。

「医療とかでもあるやん、一定の比で作った食塩水を体内に直接流し込むっていうの…」

「知らんけど…」

どっからの情報やねん。

「スポドリとかビタミン剤よりもエエねんて」

徳井の表情はちょっと怖かったけど、芸人としてじゃなく興味が湧いた。

「やって」

覚悟を決めるとニコと笑って

「腕出し」

と言ってきた。

何の抵抗もなく、袖を捲って突き出すと低いテーブルに誘導させて

座らされた。

「チクツとするで」

「…うん」

俺の右腕は徳井の左手に完璧に固定されて、青く浮き出る血管に針が触れる。

細い先端はみるみる体内に吸い込まれていく。

「……っ！」

背筋がゾクツとする。

「ゴメンな、注射嫌いやったな…」

首を横に振って否定。

確かに注射は怖いけど、吃驚するくらい痛くない。

「…あ…」

注射器の中の液体がどんどんなくなっていく。

其の代わりに体内に異物が入り込んだ気がする。

「はい、終わったで」

中身は空になり、針は抜かれた。

ペタ、とバンソーコーを貼られて、す、と撫でられ、聞かれる。

「気分どう？」

「どう？って…そんなすぐ効くもんちゃうやろ」

そやんなー、って言ってる…。

「まあ食塩水ちゃうからなあ…」

え？

どういうこと？

「1回疑ったやろ？バレるかなあって思ってんけど、福田もアホやなあ」

じゃあ何

今、俺の体の中に入っていったんて…

「覚醒剤やで」

何で…

何で覚醒剤なんか持ってたんの
いや、それより何で俺に使ったん

「……」

怖くて顔も見れない。

ずっと下を向いたまま、

手が震えて、

心臓は止まることなく汚れた血を全身に流している。

「びっくりした？」

急な明るい声に顔が自然と上がる。

そう、其のまま“嘘やで”って言って…

早く、ぐるぐる回る頭を止めて…

「吃驚した？ホンマやで」

「ホンマ…？」

“ホンマ”ってどっち

最初に言ってたんがホンマ？

其れとも。

全身がガクガク震えながら徳井にすぎる。

嫌や、やめて…

「福田。なにも泣くことないやろ」

自然と涙が溢れてくる。

わかってる。

多分答えはわかってるのに優しい真実を求める。

「徳…井」

「どうやった？」

真実を、

「初めての」

優しいのを、

「麻薬」

。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7915y/>

麻薬-悩

2011年11月23日16時46分発行